

迎古夢旅 4638 : イベリア半島・紺碧という色彩 P176



地球上には、いろいろな色彩がある。それも興味の対象。よく見ると、釣り人が目に入った。

黙って、静かに海を見ているだけでいいのだが、何が釣れるのかと、ふと・・・

熱中症になるような暑さではない。少し、風を、頬に感じている。

一度、獲物を拝見したいものだが、気の長い話。今、イベリア半島。それで充分。大陸の太公望。その後もゆっくり流れる時間を楽しんだ。これもひとり旅の楽しみ方の一つ。

思い出づくり。自然に飽きると街へ。街に関心が薄れると自然を求めて・・・

それまで、そうした時間と状況が、叶わなかったのが、なんでもない自然だが、心が喜ぶ。

少し変わっているだろうが、今は、解放された、至福の時間。

